

議会からの5つの提言

議会基本条例に基づき、議員同士の討議を行い町長に対し、次の5つの提言を行いました。

☆提言1

姉妹友好都市の交流促進

民間交流が進められている東京都台東区との友好親善交流は、行政・議会・民間と一体となった一層の促進を。

【回答】

交流のより一層の促進を図りたい。互いに子どもの交流を推し進め、将来的に物産の販売を目指したい。

☆提言2

鹿追町民花火大会の継続

鹿追町のイメージアップにも繋がり経済波及効果も見込まれるため継続的な開催が必要。開催周知もPR活動を重ねて早期に推進することが重要。

【回答】

町外からの来客も大勢見込め、経済波及効果が生まれる。新年度3百万円を予算化、花火募金等も検討。
7月28日(土)開催を予定。

☆提言3

道々85号線鹿追糠平線の通年開通の模索を

然別湖と糠平をつなぐ道々85号線鹿追糠平線は、観光地を結ぶ道路であり、冬期間観光振興策のポイントとなる。通年開通の方向性の模索を。

【回答】

上土幌町、関係諸団体との情報交換、連携を取りながら進める。



然別湖

☆提言4

企業(ホームセンター)進出

ホームセンターの町への進出は、利便性、雇用も生まれ、消費者の選択にもつながる。町有地との土地の賃貸契約は慎重に。

【回答】

出店には前向きな返事を行った。
※面積3千350㎡、9月中のオープンを予定。

☆提言5

農家周辺の環境整備の推進

農家周辺の環境整備は防疫の視点からも鹿追町農業を守るため、農村と都市の在り方の全国モデル的な事業として推進を。

【回答】

農村と都市の在り方に必要な計画を一年かけて策定(町・大学・営対協)。景観、環境、衛生等全体を考慮し、交流人口の増も模索する。



つぶやき

■パン用小麦「ゆめちから」。鹿追でも今秋から播種。面積は十勝1。モチモチ、しっとり、小麦の味が際立つ。